

製品構成

製品コード	製品名
414321	ヒストファイン マウスステインキット
414322	
714321	ヒストファイン マウスステインキット (ヒストステイナー用)

製品構成

SDS 番号	構成品・附属品
J-1008	ブロッキング試薬 A
J-1007	ブロッキング試薬 B
J-1065	シンプルステインマウス MAX-PO(M)

次頁より、SDS をご覧戴けます。

(株)ニチレイバイオサイエンス

安全データシート

作成日: 2019年09月26日

SDS 番号: J-1008

第2版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ブロッキング試薬 A(マウスステインキット)
 製品コード: 414321: ヒストファイン マウスステインキット; ブロッキング試薬 A; 6 ml × 1
 414322: ヒストファイン マウスステインキット; ブロッキング試薬 A; 17 ml × 3
 714321: ヒストファイン マウスステインキット (ヒストステイナー用); ブロッキング試薬 A; 12 ml × 3
 供給者の会社名: 株式会社ニチレイバイオサイエンス
 住所: 東京都中央区築地 6-19-20
 担当部門: 品質保証部
 電話番号: 81-3-3248-2207
 FAX 番号: 81-3-3248-2243
 メールアドレス: n1060x005@nichirei.co.jp
 緊急連絡電話番号: 81-3-3248-2207
 推奨用途及び使用上の制限: 免疫組織化学染色用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 非該当

GHS ラベル要素

絵表示: 不要
 注意喚起語: 不要
 危険有害性情報: 不要
 注意書き
 安全対策: 不要
 応急措置: 不要
 保管: 不要
 廃棄: 不要

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別: 混合物

化学名 又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
タンパク質水溶液	>99.9%	-	-	-	-
アジ化ナトリウム	<0.1%	NaN ₃	(1)-482	既存	26628-22-8

着色料を含む。

分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 情報なし

労働安全衛生法 非該当 ((アジ化ナトリウム濃度が
1%未満のため)

毒物及び劇物取締法 非該当 (アジ化ナトリウム濃度が

	0.1%未満のため)	
化学物質排出把握管理 促進法	非該当((アジ化ナトリウム濃度が 1%未満のため)	
4. 応急措置		
暴露措置による応急処置		
吸入した場合		悪影響が発生した場合、非汚染区域に移動すること。 呼吸困難の場合、有資格者による酸素吸入を行わなければならない。医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合		多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用してい て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合		飲み込んだ場合は、医師の手当てを受けること
5. 火災時の措置		
消火剤		火を囲むような適切な消火剤を使用すること。
特有の危険有害性		火災危険は無視できる。
特有の消火方法		危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護		暴露可能性に対する防護のために、空気式呼吸器(SCBA)のよ うな個人防護服及び保護具を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置		作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参 照)を着用する。
環境に対する注意事項		環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材		砂や不燃材料で吸収する。 廃棄のために、適切な容器にこぼれた材料を集めること。 不必要な人を近づけないようにし、汚染区域を隔離し、立ち入り を拒否すること。
7. 取扱及び保管上の注意		
取扱		
技術的対策		『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具 を着用する。
安全取扱注意事項		蒸気および霧の吸入を避けること。 皮膚及び目の接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避 衛生対策		『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管		
安全な保管条件		全ての最新の規則及び基準に従って保管および取り扱いを行う こと。

安全な容器包装材料 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2014年版)	ACGIH (2015年版)
タンパク質水溶液	未設定	未設定	未設定
アジ化ナトリウム	未設定	未設定	STEL C 0.29mg/m3

設備対策

局所排気装置を設置すること。
暴露上限を遵守させること。
作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

空中汚染水準が推奨される暴露限界を超える場合、暴露水準を抑えるのに適切な呼吸器保護具を使用すること。
仕様に適切な、特別な呼吸保護区については、健康及び安全の専門家に相談する事。

手の保護具

適切な耐薬品手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
適切な耐薬品保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態

液体

形状

水溶液

色

薄緑色

臭い

無臭

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

下限

データなし

上限

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度(空気=1)

データなし

比重(密度)

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配係数

データなし

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	基準温度及び基準圧力下において安定である。
危険有害反応可能性	重合は起こらない。
避けるべき条件	知られていない。
混触危険物質	知られていない。
有害な分解生成物	適切な耐薬品保護衣を着用すること。

11. 有害性情報

急性毒性

成分分析

アジ化ナトリウム (26628-22-8)	経口	LD50 Rat 45 mg/kg
	経皮	LD50 Rabbit 20 mg/kg;
	吸入	データがなく分類できない。

皮膚腐食性及び刺激性

データがなく分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データがなく分類できない。

呼吸器感作性

データがなく分類できない。

皮膚感作性

データがなく分類できない。

生殖細胞変異原性

データがなく分類できない。

発がん性

成分分析

アジ化ナトリウム (26628-22-8)	IARC: データなし
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

データがなく分類できない。

水生環境有害性(長期間)

データがなく分類できない。

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基

汚染容器及び包装 準に従うこと。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

本品は危険物に該当しない。

国際規則	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化審法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
廃棄物処理法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

16. その他の情報

連絡先	株式会社ニチレイバイオサイエンス
参考文献	NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, Annex VI RTECS ECHA C&L Inventory Database 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

安全データシート

作成日:2019年09月26日

管理番号:J-1007

第2版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:	ブロッキング試薬 B (マウスステインキット)
	414321: ヒストファイン マウスステインキット; ブロッキング試薬 B; 6 ml × 1
製品コード:	414322: ヒストファイン マウスステインキット ; ブロッキング試薬 B; 17 ml × 3
	714321: ヒストファイン マウスステインキット (ヒストステイナー用); ブロッキング試薬 B; 12 ml × 3
供給者の会社名:	株式会社ニチレイバイオサイエンス
住所:	東京都中央区築地 6-19-20
担当部門:	品質保証部
電話番号:	81-3-3248-2207
FAX 番号:	81-3-3248-2243
メールアドレス:	n1060x005@nichirei.co.jp
緊急連絡電話番号:	81-3-3248-2207
推奨用途及び使用上の制限:	免疫組織化学染色用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性

引火性液体 区分外

自然発火性液体 区分外

自己発熱性化学品 区分外

水反応可燃性化学品 区分外

健康有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 区分外

急性毒性(吸入:蒸気) 区分 4

急性毒性(吸入:ミスト) 区分外

皮膚腐食性及び刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分外

呼吸器感作性 区分 1

皮膚感作性 区分外

生殖細胞変異原性 区分外

発がん性 区分外

生殖毒性 区分外

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分外

環境有害性

水生環境有害性(急性) 区分 3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	吸入すると有害 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ 水生生物に有害
注意書き	
安全対策:	換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。
応急措置:	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
保管:	
廃棄:	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別: 混合物

化学名 又は一般名	濃度又は 濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
アジ化ナトリウム	<0.1%	NaN ₃	(1)-482	既存	26628-22-8
グルタルアルデヒド	<0.5%	OHC(CH ₂) ₃ CHO	(2)-509	既存	111-30-8
水	>99.4%	H ₂ O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 情報なし

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)	グルタルアルデヒド(政令番号: 139)
---------	--	----------------------

4. 応急措置

暴露措置による応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合	眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置	
消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。
7. 取扱及び保管上の注意	
取扱	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 飲み込みを避けること。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。

<p>接触回避 衛生対策</p>	<p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>
<p>保管</p>	<p>安全な保管条件</p> <p>保管場所には本製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	<p>包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。</p>

8. 暴露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2014年版)	ACGIH (2015年版)
アジ化ナトリウム	未設定	未設定	STEL C 0.29mg/m3
グルタルアルデヒド	未設定	最大許容濃度 0.03ppm	STEL C 0.05 ppm (sen)
水	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

<p>呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p>	<p>呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋を着用すること。 適切な保護眼鏡を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。 不浸透性の保護衣を着用すること。 体を覆う衣服以外に予防措置は必要ない。</p>
---	--

9. 物理的及び化学的性質

<p>外観</p>	<p>物理的状态</p> <p>形状</p> <p>色</p>	<p>液体</p> <p>水溶液</p> <p>透明無色</p>
<p>臭い</p> <p>臭いのしきい(閾)値</p> <p>pH</p> <p>融点・凝固点</p> <p>沸点、初留点及び沸騰範囲</p> <p>引火点</p> <p>蒸発速度(酢酸ブチル=1)</p>	<p>無臭</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>約 0°C (>99.4%の水溶液)</p> <p>約 100°C (>99.4%の水溶液)</p> <p>引火点なし</p> <p>データなし</p>	

燃焼性(固体、気体)		適用されない
燃焼又は爆発範囲	下限	不燃性
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		約 1.00(>99.4%の水溶液)
溶解度		水に易溶(>99.4%の水溶液)
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性		通常の保管および取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性		過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件		情報なし
混触危険物質		情報なし
有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、アジ化ナトリウム 45 mg/kg、グルタルアルデヒド 66 mg/kg であり、混合物の急性毒性推定値が 10,200 mg/kg のため、GHS:区分外に該当する。
	経皮	成分の急性毒性値は、アジ化ナトリウム 20mg/kg、グルタルアルデヒド 1,360 mg/kg であり、混合物の急性毒性推定値が 18,800 mg/kg のため、GHS:区分外に該当する。
	吸入(蒸気)	成分の急性毒性値は、グルタルアルデヒド 23.5ppm であり、混合物の急性毒性推定値が 4,700 ppm のため、GHS:区分 4「吸入すると有害」に該当する。
	吸入(ミスト)	成分の急性毒性値は、グルタルアルデヒド 0.48mg/L であり、混合物の急性毒性推定値が 96 mg/L のため、GHS:区分外に該当する。
皮膚腐食性及び刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、GHS:区分外に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、GHS:区分外に該当する。
呼吸器感作性		グルタルアルデヒドが区分 1 で 0.5% \geq 0.2% のため、GHS:区分 1「吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ」に該当する。
皮膚感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
生殖細胞変異原性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含

発がん性		有しないため、GHS:区分外に該当する。
生殖毒性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、GHS:区分外に該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、GHS:区分外に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		アジ化ナトリウムの毒性値が(藻類)=0.348 mg/ml で区分 1、グルタルアルデヒドの毒性値が(甲殻類)=0.75 mg/ml で区分 1 で、区分 1 の成分濃度 x 毒性乗率x100 の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分 3「水生生物に有害」に該当する。
水生環境有害性(長期間)		アジ化ナトリウムが区分 1 で、区分 1 の成分濃度x毒性状率x100 が濃度限界(25%)未満のため、GHS:区分外に該当する。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規則	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)(グルタルアルデヒド)

労働基準法

疾病化学物質(法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条・別表第 1 の 2 第 4 号 1・昭 53 労告 36 号)(アジ化ナトリウム、グルタルアルデヒド)

16. その他の情報

連絡先

株式会社ニチレイバイオサイエンス

参考文献

NITE GHS 分類公表データ

EU CLP Regulation, Annex VI

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の手取扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

安全データシート

作成日:2019年09月26日

SDS 番号:J-1065

第3版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

標識ポリマー

製品コード:

414171: ヒストファイン シンプルステインラット MAX-PO(M); 17 ml
x 1414191: ヒストファイン シンプルステインラット MAX-PO(MULTI);
17 ml × 1414311: ヒストファイン シンプルステインマウス MAX-PO (Rat); 17
ml x 1414321: ヒストファイン マウスステインキット; シンプルステインマ
ウス MAX-PO(M); 6 ml × 1414322: ヒストファイン マウスステインキット; シンプルステインマ
ウス MAX-PO(M); 17 ml × 3414341: ヒストファイン シンプルステインマウス MAX-PO (R); 17
ml x 1414351: ヒストファイン シンプルステインマウス MAX-PO (G); 17
ml x 1714171: ヒストファイン シンプルステインラット MAX-PO(M) (ヒスト
ステイナー用); 12 ml x 3714191: ヒストファイン シンプルステインラット MAX-PO(MULTI)
(ヒストステイナー用); 12 ml × 3714311: ヒストファイン シンプルステインマウス MAX-PO (Rat) (ヒ
ストステイナー用); 12 ml x 3714321: ヒストファイン マウスステインキット (ヒストステイナー
用); シンプルステインマウス MAX-PO(M); 12 ml × 3714341: ヒストファイン シンプルステインマウス MAX-PO (R) (ヒス
トステイナー用); 12 ml x 3714351: ヒストファイン シンプルステインマウス MAX-PO (G) (ヒス
トステイナー用); 12 ml x 3

供給者の会社名:

株式会社ニチレイバイオサイエンス

住所:

東京都中央区築地 6-19-20

担当部門:

品質保証部

電話番号:

81-3-3248-2207

FAX 番号:

81-3-3248-2243

メールアドレス:

n1060x005@nichirei.co.jp

緊急連絡電話番号:

81-3-3248-2207

推奨用途及び使用上の制
限:

免疫組織化学染色用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 非該当

GHS ラベル要素

絵表示:	不要
注意喚起語:	不要
危険有害性情報:	不要
注意書き	
安全対策:	不要
応急措置:	不要
保管:	不要
廃棄:	不要

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別: 混合物

化学名 又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリクローナル抗体	< 0.1%	-	-	-	-
BSA	< 0.9%	-	-	-	9048-46-8
塩類水溶液	≥ 99.0%	-	-	-	-

本品は保存剤として 2-Methyl-2H-isothiazol-3-one (< 0.1%) 及び 5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one および 2-Methyl-2H-isothiazol-3-one の混合液 (3:1) (< 0.1%) を含む。

本品は危険物を含んでいない。本品は危険物を含んでいない。

4. 応急措置

暴露措置による応急処置

吸入した場合	悪影響が発生した場合、非汚染区域に移動すること。 呼吸困難の場合、有資格者による酸素吸入を行わなければならない。医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、医師の手当てを受けること

5. 火災時の措置

消火剤	火を囲むような適切な消火剤を使用すること。
特有の危険有害性	火災危険は無視できる。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	暴露可能性に対する防護のために、空気式呼吸器(SCBA)のような個人防護服及び保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法・機材

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用する。

環境中に放出してはならない。

砂や不燃材料で吸収する。

廃棄のために、適切な容器にこぼれた材料を集めること。

不必要な人を近づけないようにし、汚染区域を隔離し、立ち入りを拒否すること。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

蒸気および霧の吸入を避けること。

皮膚及び目の接触を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

全ての最新の規則及び基準に従って保管および取り扱いを行うこと。

安全な容器包装材料

全ての最新の規則及び基準に従っている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

本品の含有物に暴露限界は設定されていない。

設備対策

局所排気装置を設置すること。

暴露上限を遵守させること。

作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

空中汚染水準が推奨される暴露限界を超える場合、暴露水準を抑えるのに適切な呼吸器保護具を使用すること。

仕様に適切な、特別な呼吸保護区については、健康及び安全の専門家に相談する事。

手の保護具

適切な耐薬品手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

適切な耐薬品保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

液体

色

薄黄色

臭い

無臭

	臭いのしきい (閾)値	データなし
	pH	データなし
物理的状态	形状	液体
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃烧性(固体、気体)		データなし
燃烧又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性		基準温度及び基準圧力下において安定である。
危険有害反応可能性		重合は起こらない。
避けるべき条件		知られていない。
混触危険物質		知られていない。
有害な分解生成物		適切な耐薬品保護衣を着用すること。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	分類できない
	吸入	分類できない
	経口	分類できない
皮膚腐食性及び刺激性		分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		分類できない
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		分類できない
吸引力呼吸器有害性		分類できない
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		分類できない。

水生環境有害性(長期間)
オゾン層への有害性

分類できない。
分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

本品は危険物に該当しない。

国際規則

Regulatory Information by Sea Complied with IMO.

Regulatory Information by Air Complied with ICAO/IATA.

国内規制

陸上規制 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 航空法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 非該当

化審法 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

廃棄物処理法 非該当

消防法 非該当

船舶安全法 非該当

航空法 非該当

16. その他の情報

連絡先

株式会社ニチレイバイオサイエンス

参考文献

NITE GHS 分類公表データ

EU CLP Regulation, Annex VI

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。